



仙台発、バリアフリーのまちづくり情報誌

誰でも自由に安全に行動しやすいまち
誰にとってもやさしく利用しやすいまち
誰もが共に助け合い、理解しあって生活するまち
誰もがひとを思いやる心を大切にするまち

第 23 号

地下鉄東西線建設事業が、平成 29 年度内閣総理大臣表彰を受賞しました

情報誌ひとやす第 22 号でもお伝えした 28 年度の国土交通省のバリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞に引き続き、平成 29 年 12 月、仙台市の地下鉄東西線建設事業が、平成 29 年度(第 16 回) バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の内閣総理大臣表彰(※)を受賞しました。

計画段階から障害のある方にご意見いただいた施設整備の取り組みと、バリアフリーに関する職員への教育・マナーアップ啓発活動・市民向け講座の開催・情報提供など、交通局組織全体で心のバリアフリー化推進を図ってきたことが、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた先進例として高く評価され、今回の受賞となりました。鉄道事業者が内閣総理大臣表彰を受賞する事例は初めてとのことでした。



頂いた賞状と賛辞の楯が飾って
あります



具体的な整備内容についての説明
資料も展示しております



仙台駅をご利用の際は
ぜひご覧になってください

※交通局ホームページでもご紹介しています(以下の URL をご参照ください)

http://www.kotsu.city.sendai.jp/subway/news/h29_bariafree_ud_hyousyou.html

受賞を受けて仙台市交通局では、市民の方々にも、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関心を持っていただけるよう、受賞した賞状と賛辞の楯、受賞の内容に関する説明資料を地下鉄仙台駅西改札前コンコースに設置しています。ぜひご覧ください。

交通局担当者からは「開業から 30 年を迎える南北線の更新・整備等を今後行う予定ですが、市民の皆様との意見交換を継続していきながら、使いやすく安心して利用できる地下鉄を目指していきたいと思っております。」との話がありました。

※バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領に基づき、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績または功労のあった個人・団体を表彰し優れた取組みを広く普及させることを目的として、平成 13 年度に創設されました。

★ 協議会加盟団体のバリアフリー活動 ★

当協議会には、仙台市内の福祉・医療・教育・建築・商業・報道関係等の様々な団体が加盟されています（H30年3月末現在、71団体）。今回は、加盟団体の中から2つの団体について、平成29年度に実施したバリアフリーに関する活動内容をご紹介します。

宮城県建築士会様の取り組み

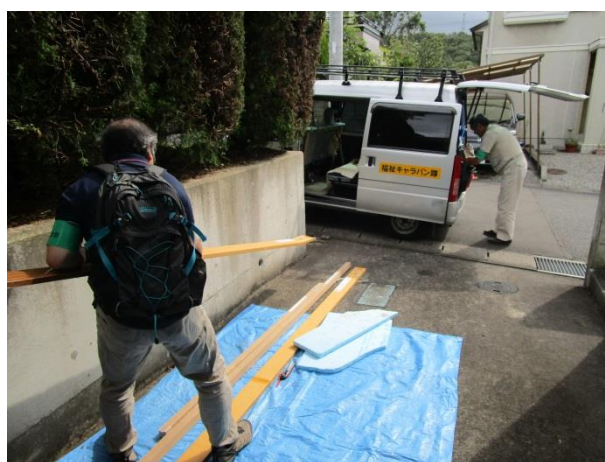
一級・二級・木造建築士という有資格者で構成する一般社団法人宮城県建築士会様は、「会員相互の協力によって、建築士業務の進歩改善と建築士の品位の保持、向上を図り、建築文化の進展に資する」ことを目的に、県下15支部をもつ団体です。

毎年1回、敬老の日の前後に、60歳以上の高齢者の方、又は、障害者手帳をお持ちの方の住宅に、材料費のみで手すり等を取り付けるという活動を、平成4年から25年間継続して実施しています。平成29年度も、建築士会会員のみならず、仙台市高齢企画課の担当者や保健師、工業高校の生徒さんなども含めたメンバーで、市内30か所のご家庭を訪問し、ボランティア活動を行いました。

ひとにやさしいまちづくり推進協議会副会長でもある宮城県建築士会仙台支部の斎藤善昭支部長からは、「私たち建築士は、今後も真に豊かな社会づくりに貢献してまいります。」と力強いお話をいただきました。



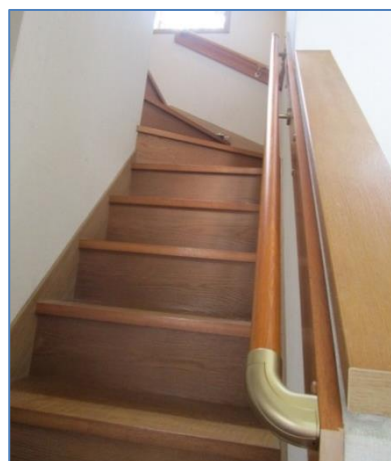
仙台市役所前で出発式！



事前に設置依頼を受けた住宅の前で準備をします



2人がかりで階段に手すりを取り付けています



完成しました！29年度は30件の依頼人宅に取り付けました

仙台バリアフリースターセンター様の取り組み

特定非営利活動法人仙台バリアフリースターセンター（旧：ゆにふりみやぎ）様は、障害者・高齢者の方が安心して楽しい旅行ができるよう、仙台市や宮城県の宿泊施設等に関するバリアフリー情報を発信している団体です。

こちらの法人では、公益財団法人みやぎ産業振興機構の助成金を利用し、「宮城バリアフリー宿泊施設ガイドブック」を発行しました。県内17か所のホテル等における、多目的トイレの有無やバリアフリー対応客室等の状況について、写真と図解でわかりやすく紹介されており、障害の程度や種類に応じて、宿泊可能な施設が選べるように構成されています。

このガイドブックは、無料で配布されているほか、PDF版もご用意されているとのことです。県内のバリアフリーな宿泊施設がわかりますので、下記URLに是非アクセスしてみてください。

特定非営利活動法人

仙台バリアフリースターセンター

<http://sendaibftc.info/>



写真：河北新報社提供

平成29年度の協議会活動

ひとにやさしいまちづくり推進協議会では、心のバリアフリーの周知啓発活動を行っております。今年度は、昨年度に引き続き、仙台市営地下鉄・市営バスに、心のバリアフリー啓発ポスターを掲示したほか、平成29年9月24日(日)に勾当台公園市民広場で開催された福祉まつり「ウェルフェア2017」に出店し、市民の方にバリアフリーについて興味を持っていただくきっかけといたしました。また、心のバリアフリー啓発ティッシュ・クリアファイル等も作成し、上記イベントや協議会加盟団体等に配布し、啓発活動に努めました。



地下鉄車内でのポスター掲示の様子



ウェルフェア2017でのクイズの様子

ひとにやさしいまちづくり推進協議会

ひとにやさしいまちづくり推進協議会は、障害のある方やご高齢の方、お子様連れの方を含めた全ての方が、建築物や道路、公園などのさまざまな施設を円滑に利用できるよう、バリアフリー整備の普及・推進を目的として平成9年に発足した、仙台市内の福祉・教育・建築・商業・マスコミ関係などの71団体が加盟する協議会です。

誰もがともに助け合い、心のバリアフリーを実践してもらえるよう、バリアフリー設備の点検活動や、イベントなどでの「バリアフリークイズ」の実施、「ひろびろトイレマーク」の普及活動など、バリアフリー推進のための啓発活動を行っています。

ひろびろトイレとは？



ひとにやさしいまちづくり推進協議会では、車いすを使用している方や子ども連れの方など、どなたでも使いやすいトイレのことを「ひろびろトイレ」と呼んでいます。このマークが目印です。

「ひとにやさしいまちづくり推進協議会」は、次の71団体が加入し
～誰もが住みよく、使いやすいまちづくり～ に取り組んでいます。

- ◆仙台市連合町内会長会◆(公社)仙台市老人クラブ連合会◆仙台中央・仙台南・仙台東の各地区交通安全協会◆(特非)仙台・みやぎ消費者支援ネット◆(公社)仙台青年会議所◆(株)河北新報社◆(株)読売新聞東北総局◆(株)時事通信社仙台支社◆日本放送協会仙台放送局◆(株)仙台放送◆(株)宮城テレビ放送◆(公社)土木学会東北支部◆(一社)日本建築学会東北支部◆仙台市子ども会育成会連合会◆仙台市PTA協議会◆宮城県私立中学高等学校連合会◆仙台市私立幼稚園PTA連合会◆(一社)仙台市医師会◆(一社)仙台歯科医師会◆(一社)宮城県理学療法士会◆(公社)宮城県看護協会◆(一社)宮城県作業療法士会◆(社福)仙台市障害者福祉協会◆(社福)仙台市社会福祉協議会◆仙台市知的障害者関係団体連絡協議会◆仙台市民生委員児童委員協議会◆仙台市ボランティア連絡協議会◆CILたすけっと◆日本労働組合総連合会宮城県連合会◆仙台商工会議所◆宮城県中小企業団体中央会◆みやぎ仙台商工会◆(一社)仙台建設業協会◆(一社)宮城県建築士会仙台支部◆(一社)宮城県建築士事務所協会◆(公社)日本建築家協会東北支部◆(一社)宮城県銀行協会◆日本チェーンストア協会東北支部◆東日本電信電話(株)宮城支店◆宮城県百貨店協会◆宮城県理容生活衛生同業組合◆宮城県美容業生活衛生同業組合◆協同組合日専連仙台◆荒町・一番町一番街・一番町四丁目・おおまち・クロスロード・サンカトゥール・サンモール一番町・仙台駅前・名掛丁・長町駅前・本町・宮町・長町一丁目・なかやまの各商店街振興組合◆三神峯はあとふる商店会◆(一社)宮城県タクシー協会仙台地区総支部◆(公社)宮城県バス協会◆東日本旅客鉄道(株)仙台支社◆(特非)仙台バリアフリースターセンター◆仙台ビルディング協会◆(一社)日本エレベーター協会東北支部◆(公社)日本オストミー協会仙台市支部◆みやぎ生活協同組合◆宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合◆宮城県クリーニング生活衛生同業組合◆宮城県行政書士会

<編集・発行> ひとにやさしいまちづくり推進協議会

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7-1

☎022-214-8158 (仙台市健康福祉局社会課内)

ひとにやさしいまちづくり推進協議会ホームページ

ひとやさ

検索

<http://www.city.sendai.jp/chikifukushi/kurashi/KenKotofukushi/shogai/Kyose/barrier-free/suishin.html>